

研究開発課題概要書

1. 課題名(期間)

地区・都市整備シミュレーション技術の開発(平成 15年～ 17年)

2. 主担当者(所属グループ)

樋野 公宏(住宅・都市研究グループ)

3. 背景及び目的・必要性

本研究においては、都市整備事業を、制度によって規定されるルールの下に、利害関係を異にするステークホルダにより行われるゲームとしてとらえ、事業形成期における、制度的条件と互いに矛盾する価値尺度の間で、近未来の可能な代替案のシミュレーションを行いながら、計画案の選択を支援するようなロジックを具体化し、合意形成を支援するようなシステムの構築を目指す。

4. 研究開発の概要・範囲

- (1)地区・都市整備事業のロジックを整理する。
- (2)モデル的に投入を行う現場を選定し、協力依頼を行う。
- (3)モデル現場に関する、シミュレーションのベースとなる初期条件データを作成する。
- (4)都市整備シミュレータのプログラムを作成する。
- (5)現場における担当者に対するデモ、地元説明会などにおけるデモ、現場でのワークショップへの投入などを行う。
- (6)システムを配布可能な形で研究資料としてとりまとめる。

5. 達成すべき目標

事業をシミュレートするロジック。そのロジックを実装した具体例の提示。少なくとも一つの都市整備の現場における、合意形成のためのワークショップへの投入。

6. 進捗状況(継続課題のみ)

平成 15年度は、研究計画に基づき論点の整理と資料収集作業を終え、報告書にまとめた。

平成 16年度は、シミュレーションのためのアルゴリズム検討、実証実験対象地との調整作業を行った。